



2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 株式会社 コロワイド 上場取引所 東
 コード番号 7616 URL <https://www.colowide.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野尻 公平
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 米村 昌晃 TEL 045-274-5970
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		EBITDA		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	118,015	12.8	3,241	—	7,097	538.8	4,440	—	2,842	—	2,310	—
2023年3月期第2四半期	104,656	33.5	△2,531	—	1,111	△85.3	△2,846	—	△3,030	—	△2,204	—

	四半期包括利益合計額		基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	3,101	—	20.66	20.66
2023年3月期第2四半期	△2,530	—	△31.42	△31.42

※1 事業利益 = 「売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費」により計算しております。

※2 EBITDA = 「事業利益 + 減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）」により計算しております。尚、2024年3月期第2四半期のIFRS営業利益は、4,182百万円となりました。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	261,390	52,919	44,376	17.0	332.81
2023年3月期	261,859	50,701	42,745	16.3	314.11

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

上記「配当の状況」は普通株式に係る配当状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当については、後述の「優先株式の配当状況」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		EBITDA		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	245,005	10.9	7,967	—	16,099	117.5	3,186	—	1,130	7.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社 (社名) ー

除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期2Q	86,903,541株	2023年3月期	86,903,541株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	196,149株	2023年3月期	223,977株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	86,687,431株	2023年3月期2Q	86,657,120株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当社グループは、国際会計基準（IFRS）を適用しております。

(2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

優先株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金総額は以下の通りです。

優先株式

(基準日)	1株当たり配当金					配当金総額 (合計)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	3,136,360 00	3,136,360 00	94,090,800 00
2024年3月期 (予想)	—	—	—	3,149,090 00	3,149,090 00	94,472,700 00
第2回優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	3,636,360 00	3,636,360 00	109,090,800 00
2024年3月期 (予想)	—	—	—	3,649,090 00	3,649,090 00	109,472,700 00
第3回優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	3,500,000 00	3,500,000 00	315,000,000 00
2024年3月期 (予想)	—	—	—	3,500,000 00	3,500,000 00	315,000,000 00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症へ移行したことを契機に行動制限の緩和が進み、社会経済活動が緩やかに持ち直して参りました。外需の伸びやインバウンド需要もあって国内経済は回復基調を維持しているものの、資源・エネルギー価格の高止まりや円安の継続等による物価高が収束せず、消費者の購買意欲の低下が懸念され、依然として先行きは不透明な状況となっております。世界経済におきましても、ウクライナ情勢の長期化や米欧における金融引締め、中国の不良債権問題等により景気後退の可能性が続いている為、我が国への影響が危惧されております。

外食産業におきましては、経済活動の正常化により消費者のマインドが上向いてきたことから緩やかな回復が見られており、インバウンド需要についても引続き堅調に推移する見通しです。しかしながらその一方で、原材料価格や光熱費、人件費等のコスト上昇圧力が収まらず、また物流費の上昇や慢性的な人手不足等もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは業績のV字回復を目指すと共に、中長期的な企業価値の向上を展望し、中期経営計画「COLOWIDE Vision 2030」を作成、これに基づき事業推進に努めております。

国内の外食事業につきましては、コロナ禍で変化した生活様式に適応すべく、牛角及びその派生業態、焼肉カルビ大将、大戸屋ごはん処等のレストラン業態を郊外・ロードサイド中心に出店を進め、コロナ禍期間における直営店純減分の回復を図っております。加えて経年劣化した店舗の改装やリロケーション、業態転換等を進めることで、既存店の売上収益の底上げや収益性の回復を行っております。

営業施策と致しましては、集客力の土台となるグランドメニューの改定により、主力商品の価値を高めつつ原価上昇への対応を進めました。人気アニメ等とのコラボレーションによる家族客への訴求に加え、新たな顧客の開拓に向けてバーチャルYouTuberを使ったキャンペーン企画を実施し、更にブランドイメージ向上を兼ねたタレント起用によるPRも積極的に進めております。また8月にはグループ過去最大規模でのビール祭りを開催し、多くのお客様にご来店頂く機会を創出致しました。

一方、物流事情の深刻化が懸念される「2024年問題」への対処も進めており、効率化に向けて配送拠点を全国16拠点から13拠点へ集約し、配送頻度についても段階的に減少させております。また更なる食品安全管理レベルの向上の為、㈱コロワイドMDの全工場で食品安全マネジメント規格である「JFS-B」の認証を取得しており、衛生管理の国際的な手法であるHACCPをクリアすることになりました。

海外の外食事業につきましては、それぞれの国・地域において親和性の高い業態の出店を進めております。東アジアでは牛角及びその派生業態としゃぶしゃぶ温野菜を出店致しました。ASEAN地域では、牛角・大戸屋に加え、インドネシアでかつぱ寿司3号店を出店し、更なる需要獲得に向けて活動しております。

中期ミッションの一つに位置付けている給食事業につきましては、事業所や大学からの運営受託の拡大を進める一方で、病院や介護施設への参入も積極的に取り組んでおります。更に多様な輸配送ニーズに対応する為、ヤマト運輸のネットワークを活用した新たな物流スキームの運用を開始致しました。

またサステナビリティ推進の一環として、持続可能な食材調達に向けた取組みを進めております。自社製造の大豆ミート製品をかつぱ寿司全店にて販売している他、陸上養殖により育てた魚を使用した寿司の取扱いも拡大しております。更に農業生産法人に資本参加する等、サプライチェーン全体を視野に収め、活動を行っております。

加えて、地球環境への貢献の為、店舗の廃食用油を国産SAF（温室効果ガスを大幅に削減できると期待されている航空機向けバイオ燃料）の原料として供給し、再資源化することにも取り組んでおります。また多様な就業形態の提供による働きやすさの確保や、女性社員並びに女性管理職の比率向上及び活躍機会の拡大等にも引き続き努めております。

店舗の出退店につきましては、直営レストラン業態を50店舗及び直営居酒屋業態を11店舗、合計61店舗を出店する一方、直営レストラン業態23店舗、直営居酒屋業態15店舗、合計38店舗を閉店しております。尚、ほとんどの閉店につきましては、前期に決議・会計処理を行っており、当期業績への影響は軽微であります。その結果、当第2四半期連結会計期間末の直営店舗数は1,386店舗、FCを含めた総店舗数は2,628店舗となっております。

以上の取組みを進めて参りました結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、連結子会社である㈱アトム業績回復が遅れているものの、㈱レイズインターナショナルを中心とした他の連結子会社の業績が著しく回復していることから、売上収益が1,180億15百万円、事業利益が32億41百万円、IFRS営業利益が41億82百万円、四半期利益が28億42百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益が23億10百万円となりました。

当社グループのセグメント別の売上収益につきましては、㈱コロワイドMD411億97百万円、㈱アトム184億63百万円、㈱レイズインターナショナル481億31百万円、カップ・クリエイト㈱362億42百万円、㈱大戸屋ホールディングス134億62百万円、その他36億81百万円となっております。

尚、各セグメント別の売上収益は、セグメント間の内部売上収益又は振替高等を考慮しておりません。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億70百万円減少し、2,613億90百万円となりました。これは主に有形固定資産が39億78百万円、のれんが11億11百万円増加したものの、現金及び現金同等物が45億45百万円、繰延税金資産が12億32百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ26億87百万円減少し、2,084億71百万円となりました。これは主に営業債務及びその他の債務が7億48百万円増加したものの、社債及び借入金が32億58百万円減少したことによるものです。

資本合計は、前連結会計年度末に比べ22億18百万円増加し、529億19百万円となりました。これは主に利益剰余金が13億58百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが157億56百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△76億12百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが△129億27百万円、現金及び現金同等物に係る換算差額が2億38百万円となりました結果、前連結会計年度末に比べ45億45百万円減少し、455億21百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税引前四半期利益、減価償却費及び償却費によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主にリース負債の返済による支出、社債の償還による支出によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に発表致しました通期の連結業績予想の数値から変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	50,066	45,521
営業債権及びその他の債権	11,124	11,053
その他の金融資産	634	534
棚卸資産	3,492	3,864
未収法人所得税	386	138
その他の流動資産	3,611	3,319
流動資産合計	69,312	64,429
非流動資産		
有形固定資産	42,872	46,850
使用権資産	22,509	23,593
のれん	80,188	81,299
無形資産	11,243	10,580
投資不動産	389	388
その他の金融資産	20,861	20,912
繰延税金資産	14,038	12,806
その他の非流動資産	447	532
非流動資産合計	192,547	196,961
資産合計	261,859	261,390

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	23,661	24,509
社債及び借入金	31,956	31,251
リース負債	14,681	12,911
その他の金融負債	25	27
未払法人所得税	926	797
引当金	5,532	4,638
契約負債等	211	219
その他の流動負債	9,504	10,071
流動負債合計	86,494	84,422
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	4,167	4,067
社債及び借入金	91,509	88,956
リース負債	18,419	20,707
その他の金融負債	2,048	1,927
引当金	6,478	6,342
繰延税金負債	484	370
契約負債等	855	824
その他の非流動負債	703	857
非流動負債合計	124,664	124,049
負債合計	211,158	208,471
資本		
資本金	27,905	27,905
資本剰余金	40,482	40,533
自己株式	△143	△125
その他の資本の構成要素	△327	△122
利益剰余金	△25,172	△23,814
親会社の所有者に帰属する持分合計	42,745	44,376
非支配持分	7,956	8,543
資本合計	50,701	52,919
負債及び資本合計	261,859	261,390

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	104,656	118,015
売上原価	45,971	50,296
売上総利益	58,685	67,719
販売費及び一般管理費	61,215	64,477
事業利益又は事業損失 (△)	△2,531	3,241
その他の営業収益	697	1,620
その他の営業費用	1,357	679
IFRS営業利益又は営業損失 (△)	△3,191	4,182
金融収益	1,869	1,663
金融費用	1,523	1,406
税引前四半期利益又は税引前四半期損失 (△)	△2,846	4,440
法人所得税費用	184	1,598
四半期利益又は四半期損失 (△)	△3,030	2,842
四半期利益又は四半期損失 (△) の帰属		
親会社の所有者	△2,204	2,310
非支配持分	△825	532
四半期利益又は四半期損失 (△)	△3,030	2,842
1株当たり四半期利益又は四半期損失 (△)		
基本的1株当たり四半期利益又は四半期損失 (△) (円)	△31.42	20.66
希薄化後1株当たり四半期利益又は四半期損失 (△) (円)	△31.42	20.66

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益又は四半期損失(△)	△3,030	2,842
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△7	31
純損益に振り替えられることのない項目合計	△7	31
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	469	177
キャッシュ・フロー・ヘッジ	37	51
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	506	228
税引後その他の包括利益	500	259
四半期包括利益	△2,530	3,101
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△1,770	2,514
非支配持分	△760	586
四半期包括利益	△2,530	3,101

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額
2022年4月1日残高	27,905	40,424	△159	7	△189	△267
四半期損失	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△2	32	404
四半期包括利益	—	—	—	△2	32	404
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
自己株式の処分	—	33	17	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	21	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	54	17	—	—	—
2022年9月30日残高	27,905	40,478	△143	4	△157	137

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素	利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分合計		
	その他の資本の構成要素合計				
2022年4月1日残高	△450	△17,421	50,300	9,730	60,030
四半期損失	—	△2,204	△2,204	△825	△3,030
その他の包括利益	434	—	434	66	500
四半期包括利益	434	△2,204	△1,770	△760	△2,530
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	—	50	—	50
配当金	—	△951	△951	—	△951
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	—	21	9	30
所有者との取引額合計	—	△951	△881	9	△871
2022年9月30日残高	△16	△20,576	47,649	8,980	56,629

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額
2023年4月1日残高	27,905	40,482	△143	7	△246	△88
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	26	54	124
四半期包括利益	—	—	—	26	54	124
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
自己株式の処分	—	39	18	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	14	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△2	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	51	17	—	—	—
2023年9月30日残高	27,905	40,533	△125	33	△192	36

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素	利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分合計		
	その他の資本の構成要素合計				
2023年4月1日残高	△327	△25,172	42,745	7,956	50,701
四半期利益	—	2,310	2,310	532	2,842
その他の包括利益	205	—	205	54	259
四半期包括利益	205	2,310	2,514	586	3,101
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	—	57	—	57
配当金	—	△952	△952	△19	△971
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	—	—	14	23	38
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	△2	△4	△6
所有者との取引額合計	—	△952	△883	0	△883
2023年9月30日残高	△122	△23,814	44,376	8,543	52,919

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益又は税引前四半期損失 (△)	△2,846	4,440
減価償却費及び償却費	11,411	11,462
減損損失	539	281
金融収益	△1,869	△1,663
金融費用	1,523	1,406
固定資産除売却損益 (△は益)	214	183
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△584	△372
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	4,173	70
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	3,462	855
その他	3,301	817
小計	19,324	17,480
利息及び配当金の受取額	80	101
利息の支払額	△1,304	△1,393
法人所得税の還付額	535	247
法人所得税の支払額	△343	△679
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,292	15,756
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入れによる支出	△6	△6
有形固定資産の取得による支出	△3,597	△6,874
有形固定資産の売却による収入	146	10
敷金及び保証金の差入による支出	△144	△456
敷金及び保証金の回収による収入	399	971
その他	△496	△1,256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,699	△7,612
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6	△530
長期借入れによる収入	7,899	12,500
長期借入金の返済による支出	△8,425	△10,103
社債の発行による収入	3,701	—
社債の償還による支出	△6,239	△5,313
リース負債の返済による支出	△8,367	△8,561
連結子会社の自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△948	△950
非支配株主への配当金の支払額	△0	△20
その他	49	50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,324	△12,927
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,679	238
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	589	△4,545
現金及び現金同等物の期首残高	48,534	50,066
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,123	45,521

（6）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS第1号	財務諸表の表示	重要な（significant）会計方針ではなく、重要性がある（material）会計方針を開示することを要求する改訂
IAS第8号	会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬	会計方針と会計上の見積りとの区別を明確化
IAS第12号	法人所得税	リース及び廃棄義務に係る繰延税金の会計処理を明確化

当該基準の適用による要約四半期連結財務諸表に与える影響はありません。